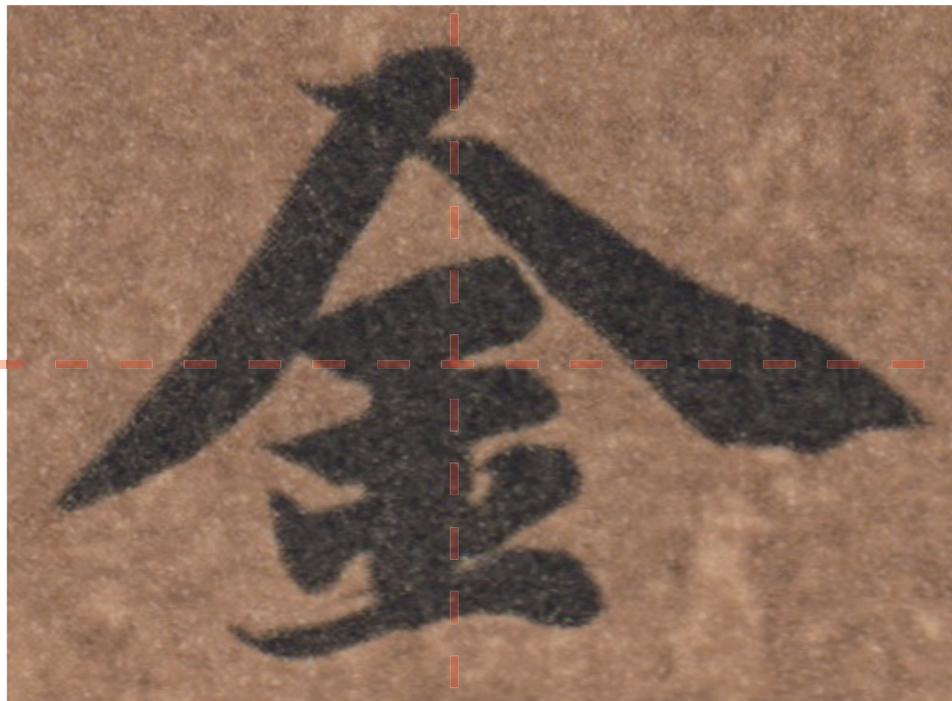
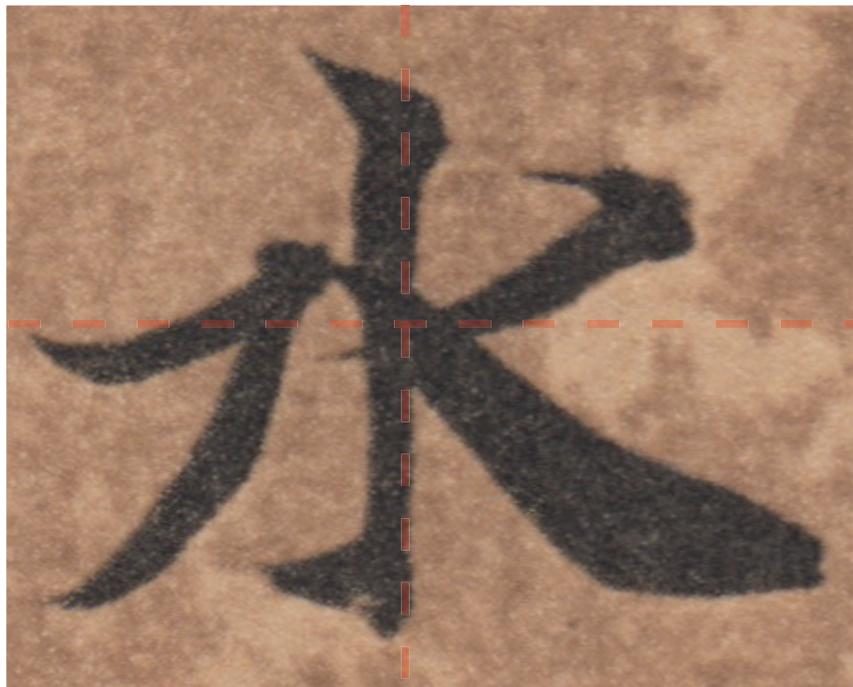
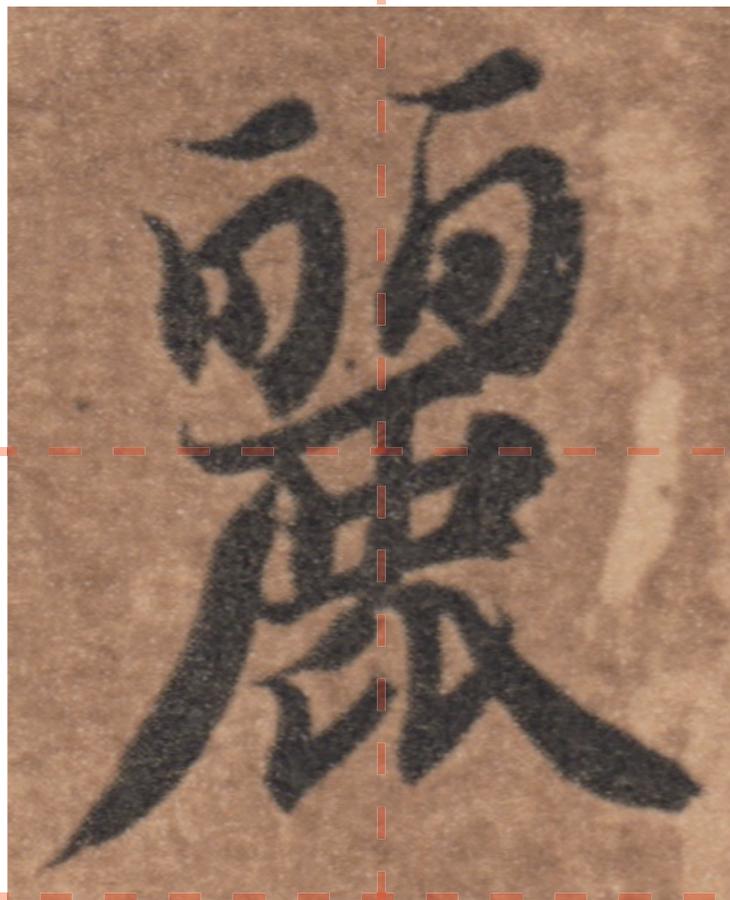


金 きん

は 麗水 れいすい

から 生じ しょう

金は麗水から生まれ、



侵

庚

※麗水は旧時は長江上流の総称、
四川から出て雲南の北部を流れ
揚子江に注ぐ。雲南では金沙江とも
麗江とも呼ぶ。

玉

ぎよく

崑

こんこう

崗

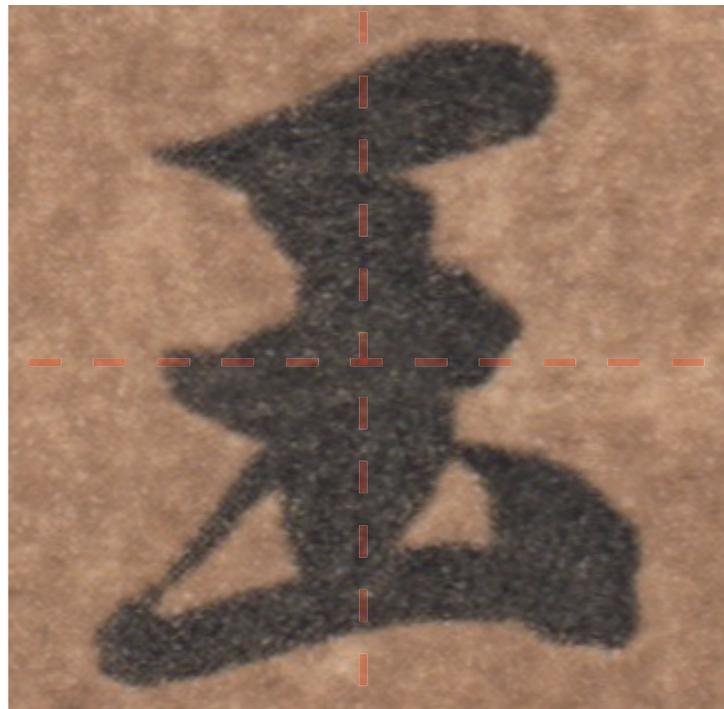
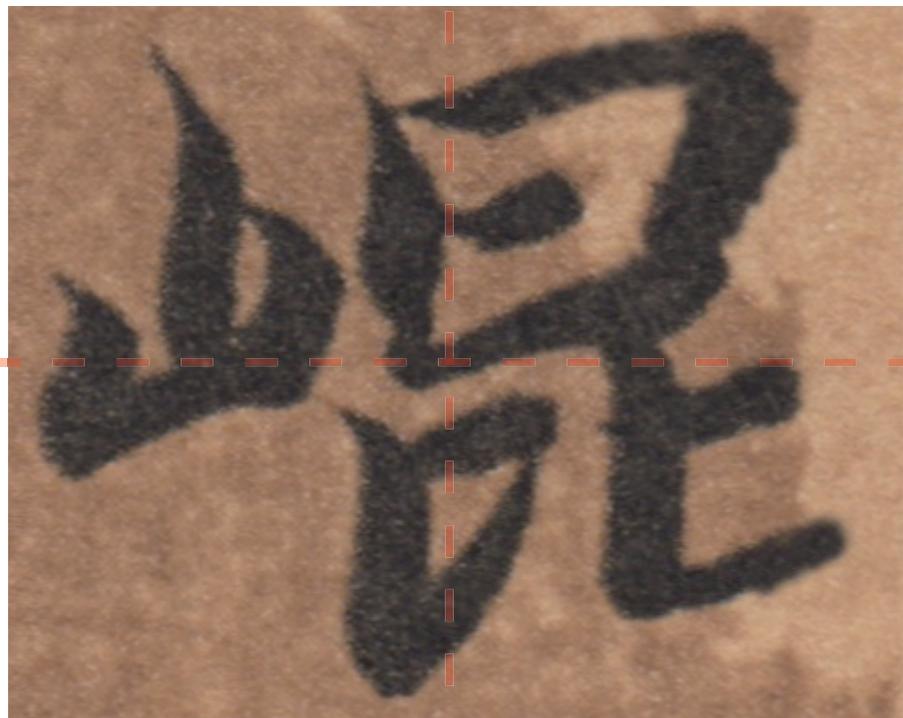
に

出

い

ず

玉は崑崙山から出る。



元

陽

※崑崙の「崑」という字は王羲之がそう書いていた。
※「崗」は「岡」の俗字。「崗」＝「岡」。

劍は巨闕をやかましく言う、

※巨闕は5つの名劍の一つ。



けん

は



きよけつ

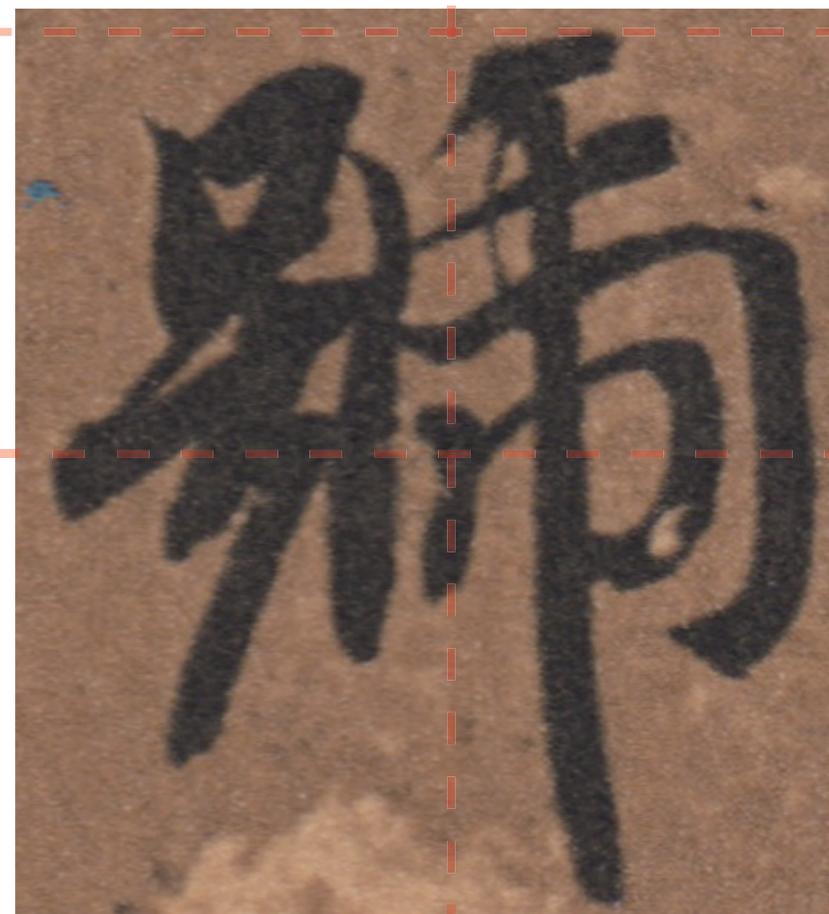
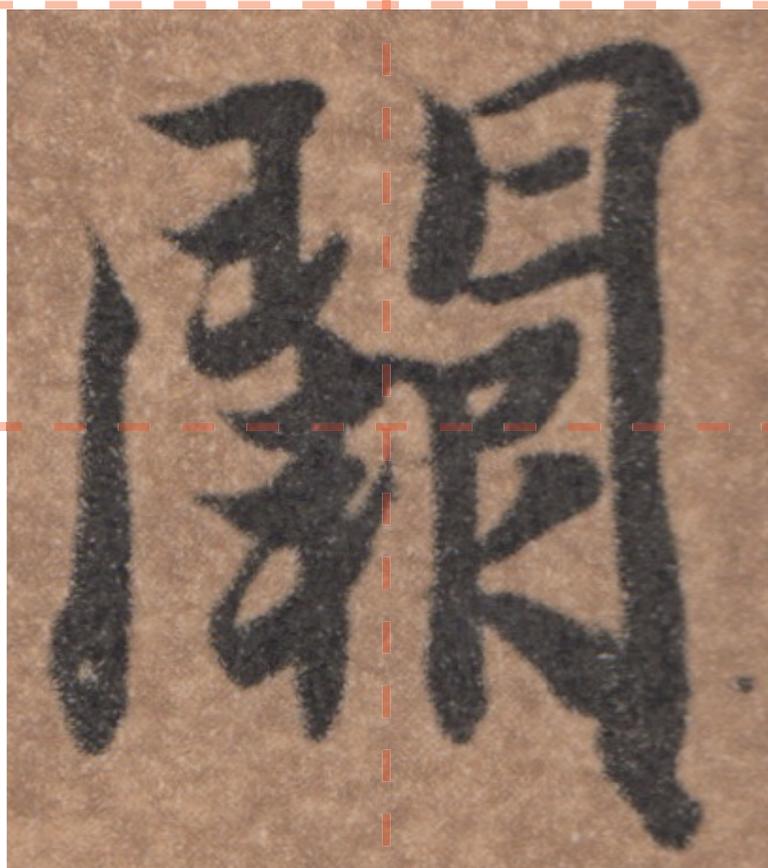
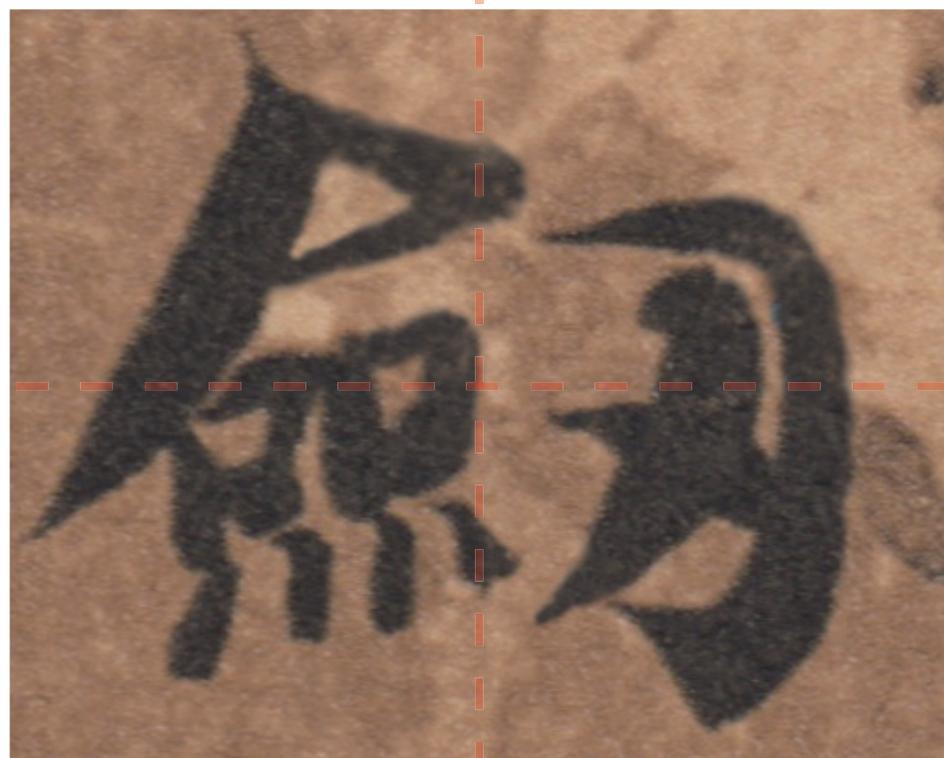


を



ごう

し



豪

※宮城門外の左右両側に設けた
2つの台。宮城。天子の居所。
欠ける。

珠では夜光をほめたたえる。

※夜光は夜光珠、夜光貝から取れる宝石のこと。

珠

あき

は

夜光

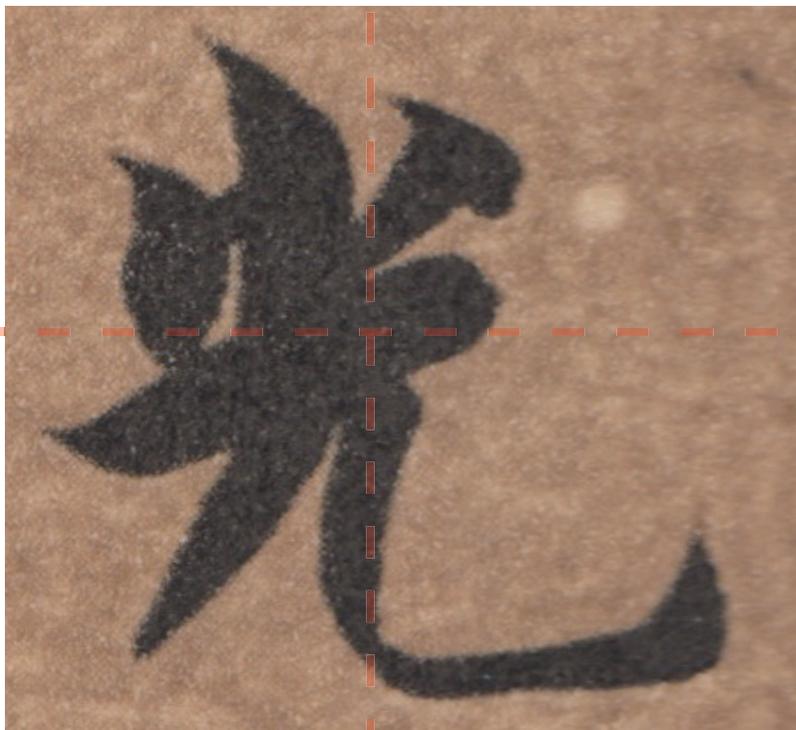
やこう

を

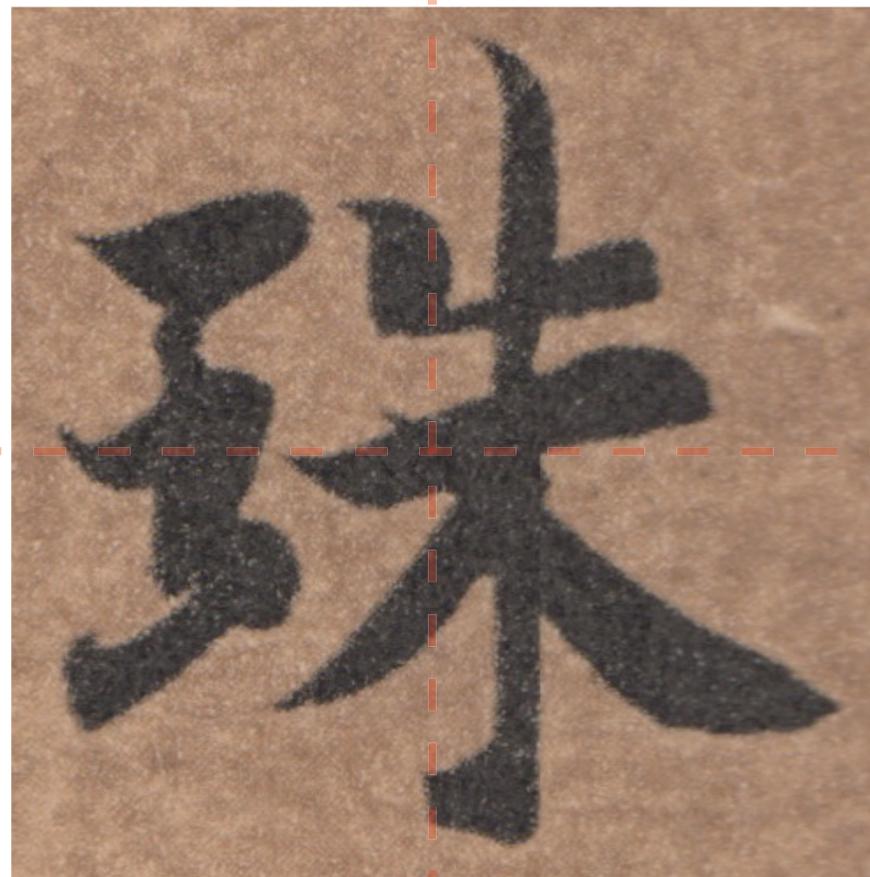
稱

しょう

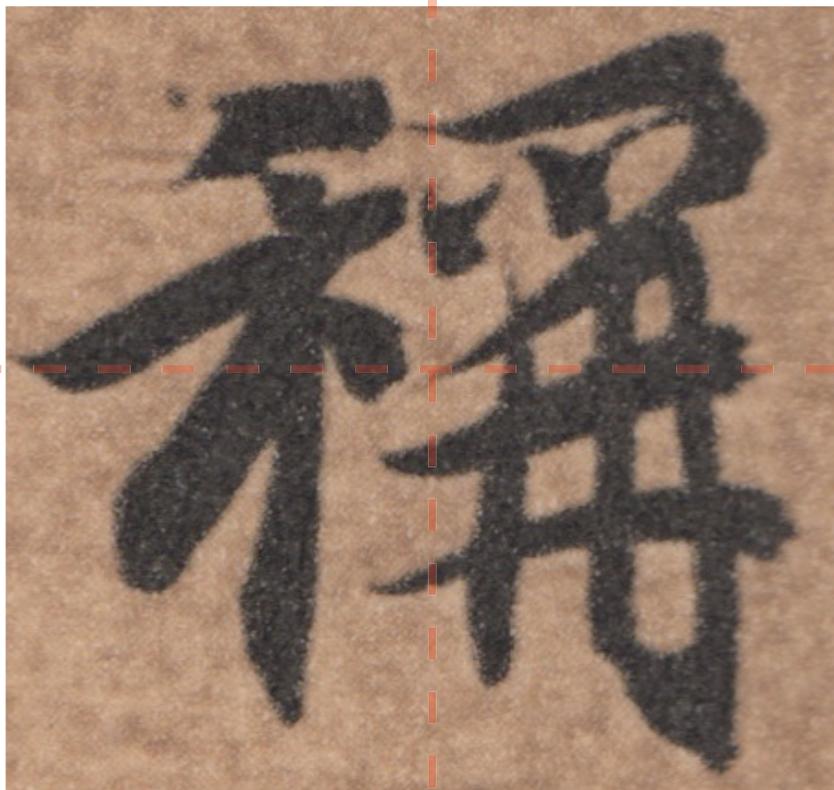
す



陽



虞



※称と同字

蒸

果物は李すももと柰からなしをとうとび、
へんりた

菓

か

は李柰

りだい

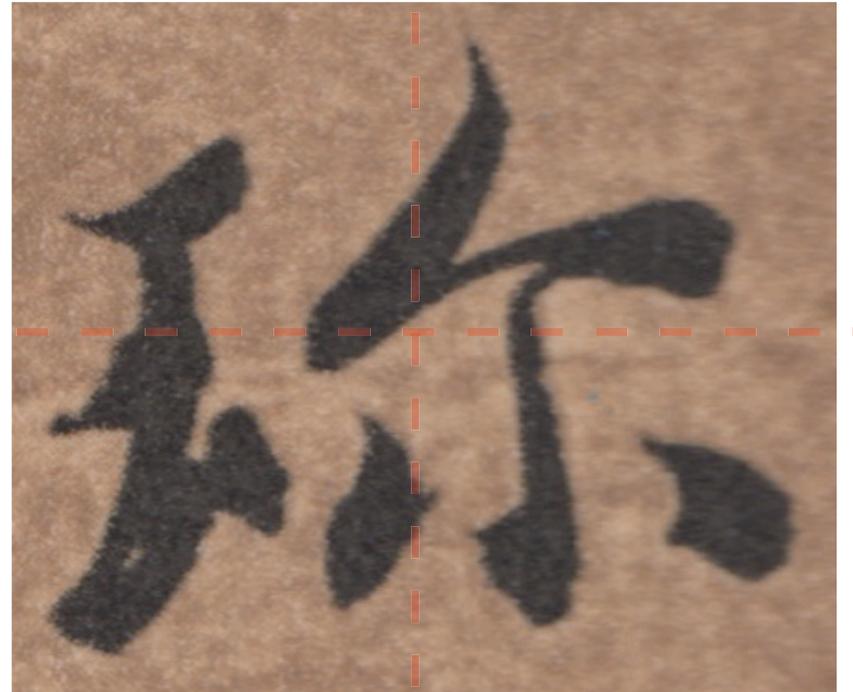
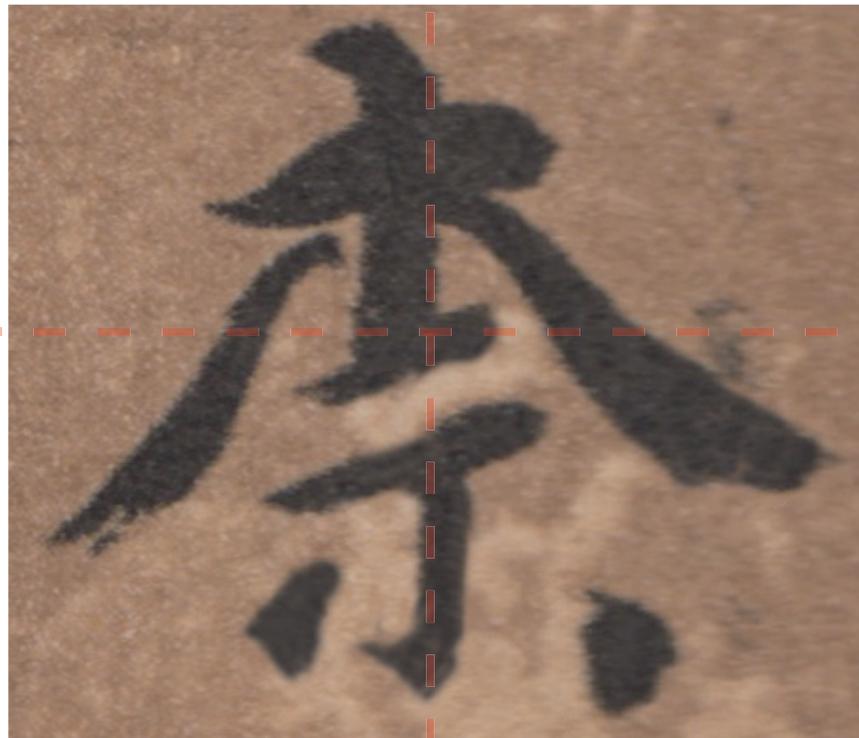
を珍

ちん

とし



真



野菜では芥と薑を大切に^{からし}する。

菜

な

は

芥

かいきよう

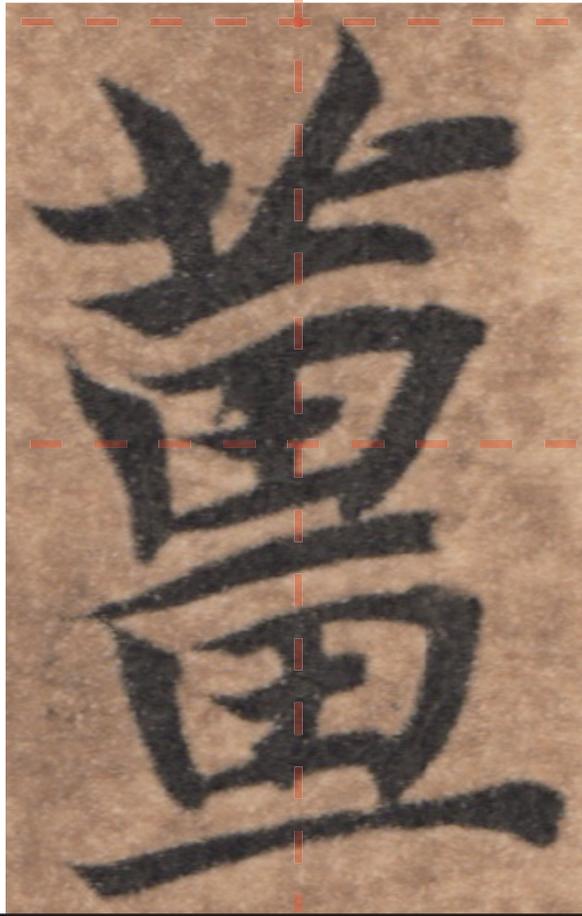
薑

を

重

おも

んず



陽

●冬

海の水は塩辛く河の水は味がうすい、

海

うみ

は

鹹

しおから

く

河

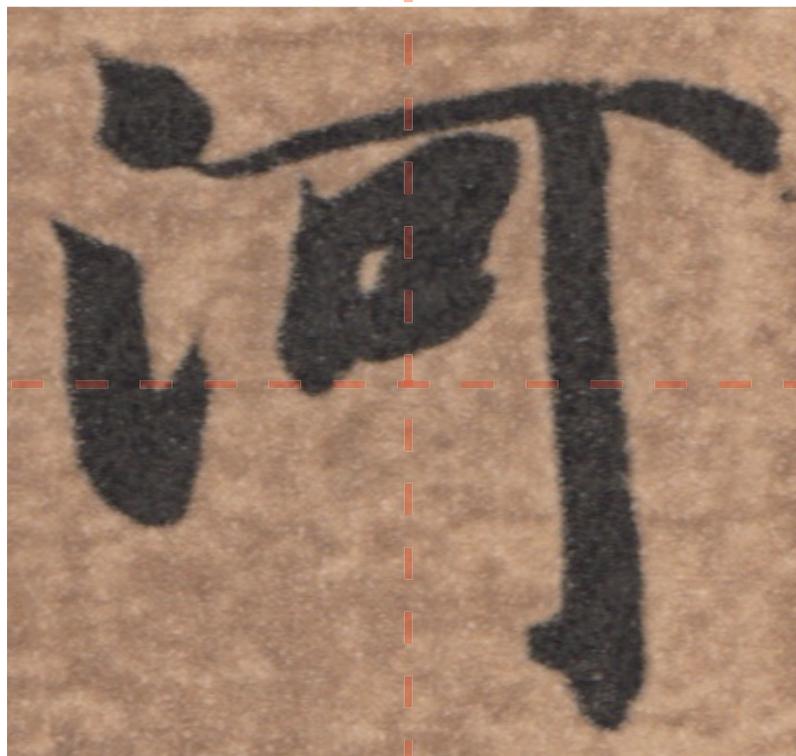
かわ

は

淡

あわ

し



歌



咸

魚は淵に潜み鳥は空を飛びまわる。



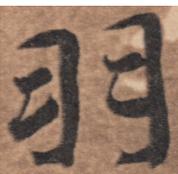
うろこ

あるは



ひそ

み



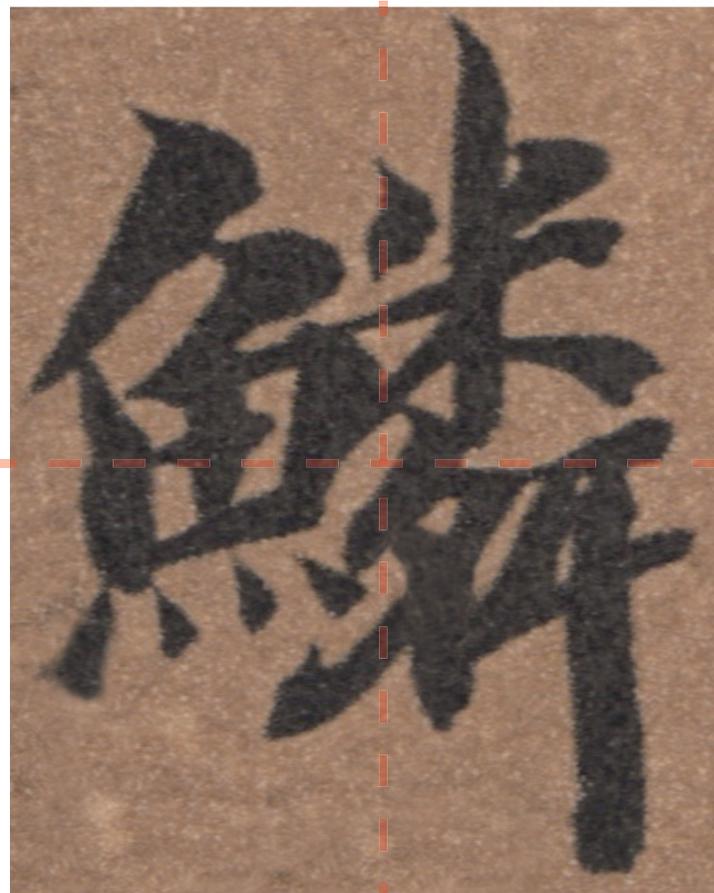
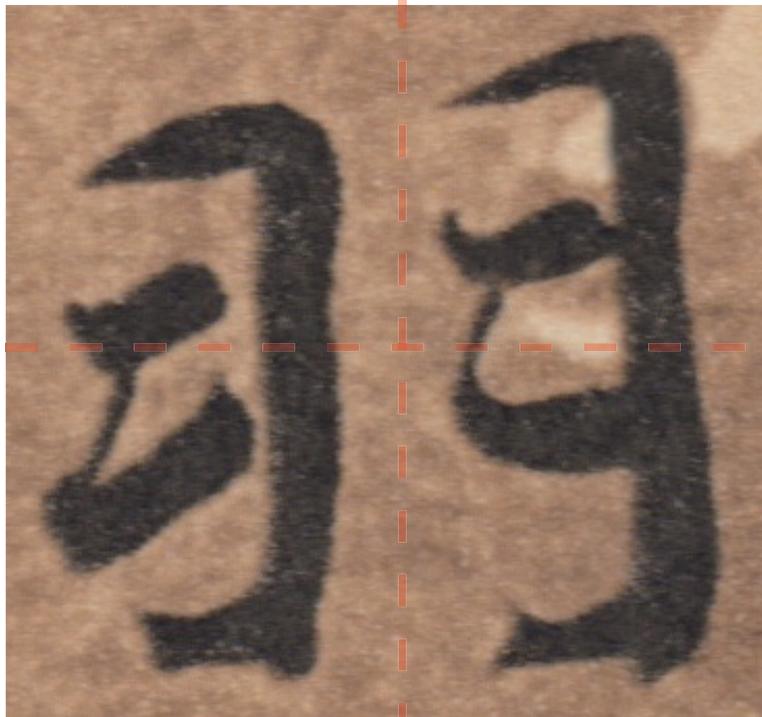
はね

あるは

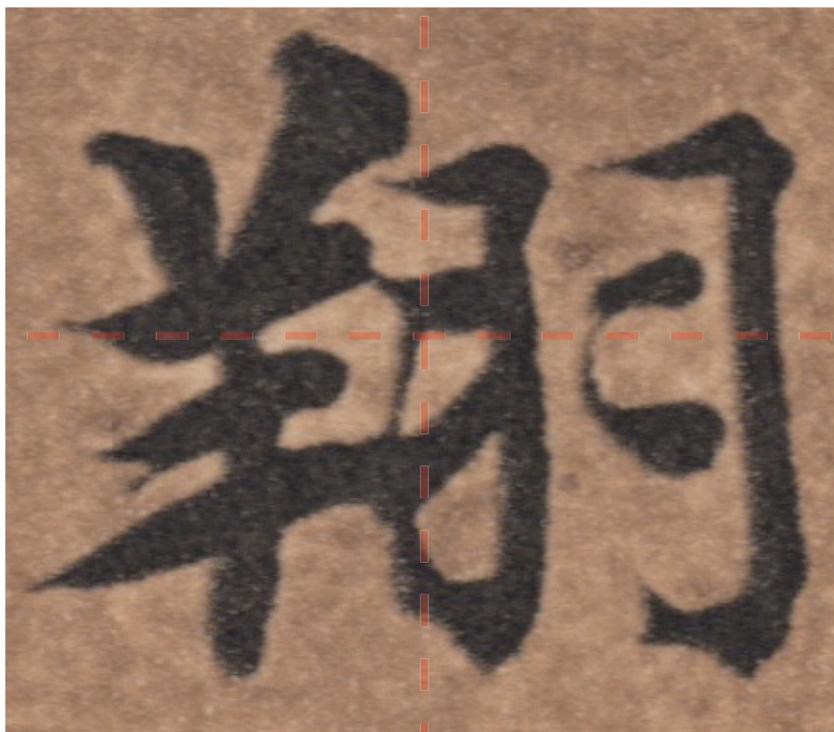


かけ

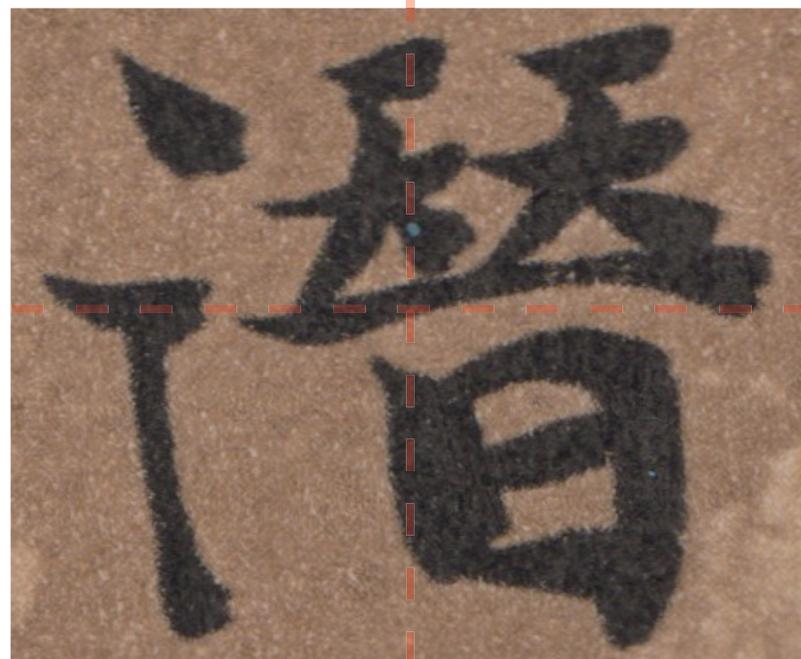
る



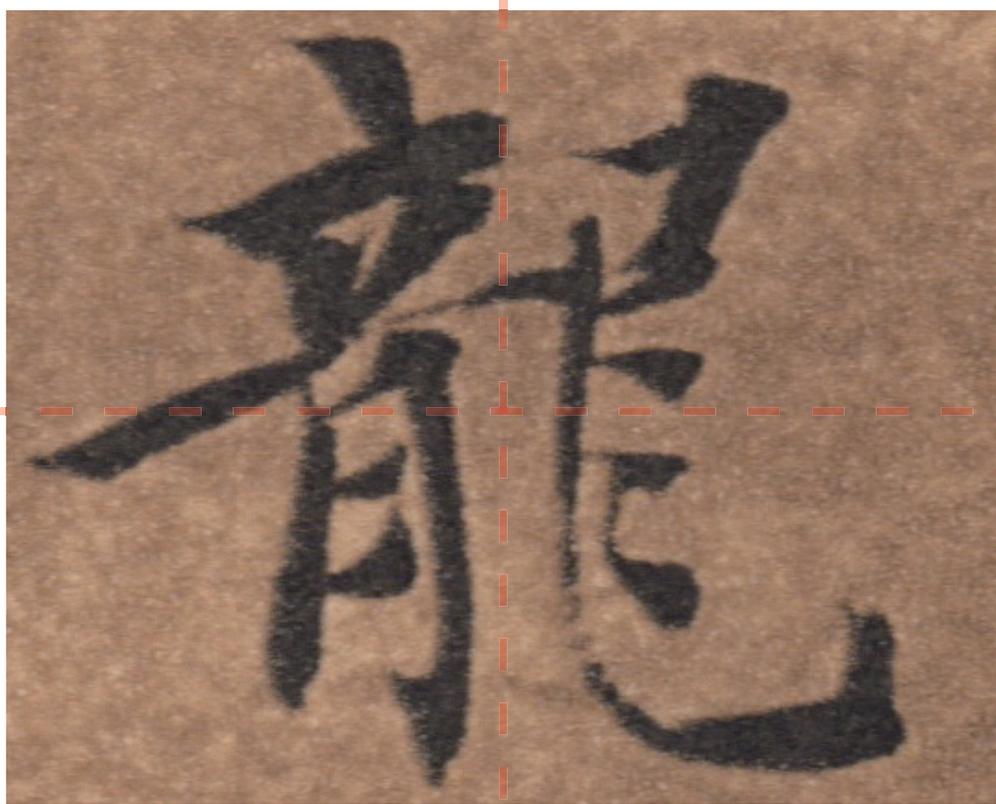
真



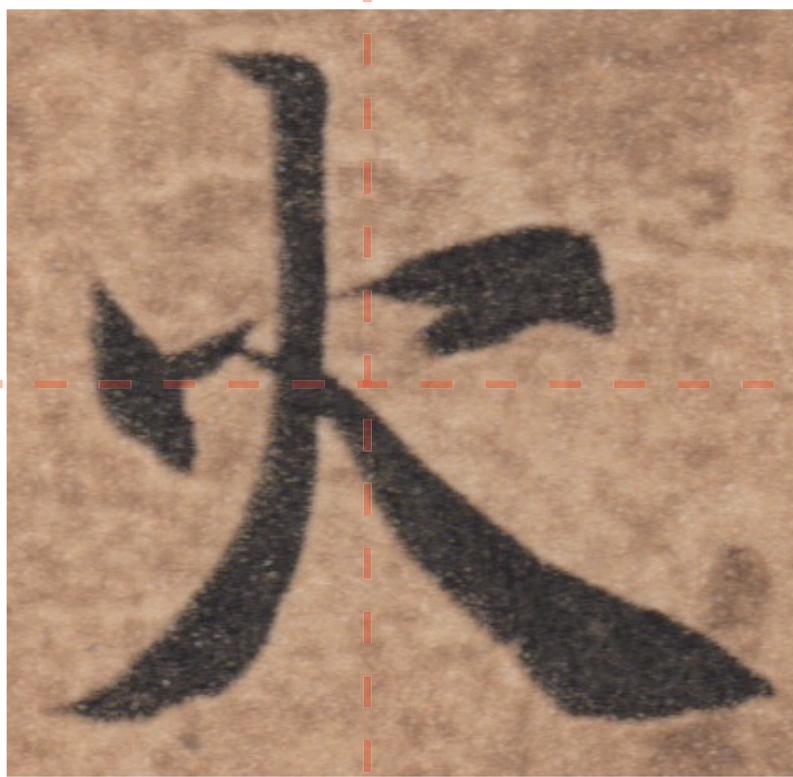
陽



塩



冬



●



支



●



りゅうし



かてい



上古人文が起る際に龍師・火帝のような帝王が居られた。

(鳥官・人皇)

※龍師・火帝・鳥官・人皇は歴代の王のこと

上古人文が起る際に鳥官・人皇のような帝王が居られた。

(龍師・火帝)

※龍師・火帝・鳥官・人皇は歴代の王のこと



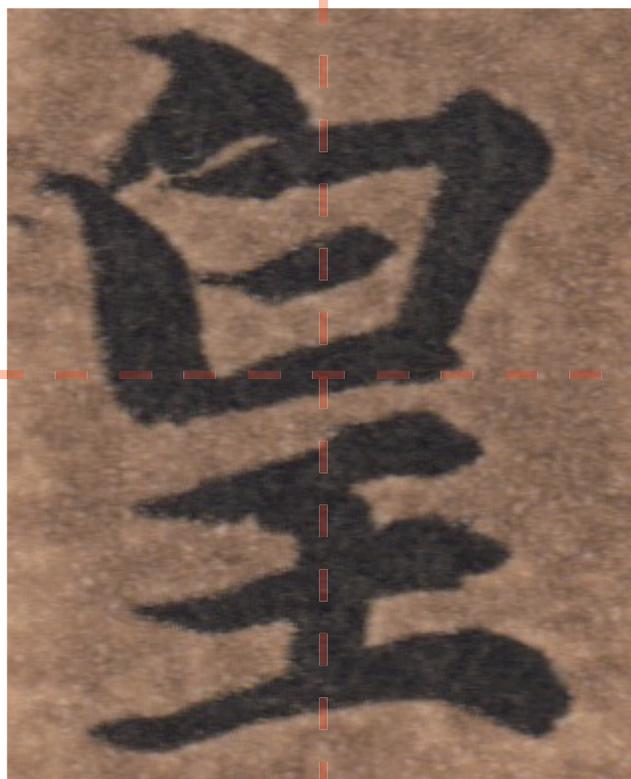
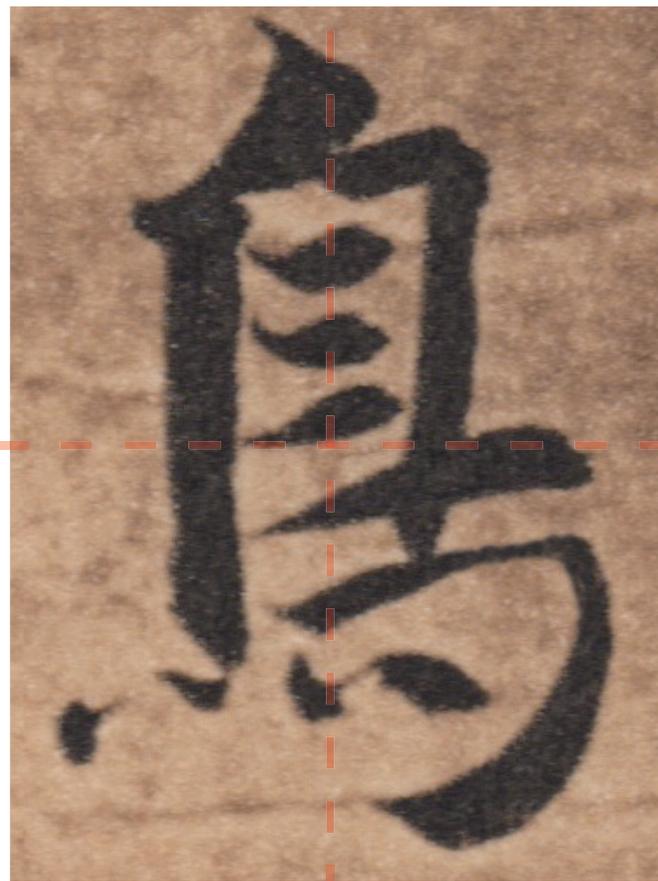
ちようかん



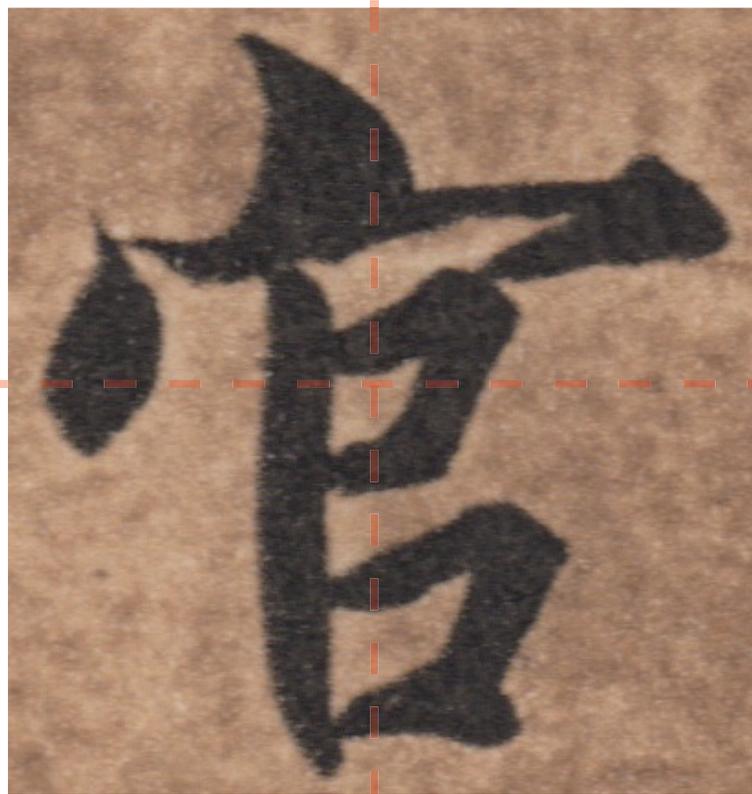
じんこう



真



陽



寒